バイモ

生薬の性状の項を次のように改める.

生薬の性状　本品は偏球形を呈し，肥厚した 2 個のりん片葉からなり，径 2～3cm，高さ 1～2cm，しばしば分離したものがある．外面及び内面は白色～淡黄褐色，内面の基部はやや暗色を呈する．石灰を散布して乾燥したものは白粉を付けている．折面は白色を呈し，粉性である．

本品は特異な弱いにおいがあり，味は苦い.

本品の横切片を鏡検〈*5.01*〉するとき，最外層は 1 層の表皮からなりその内側は柔組織で満たされ，多数の維管束が散在する．柔組織中にはでんぷん粒を含む．でんぷん粒は主に単粒で，径 5～60μm，層紋が明瞭で，長卵形～卵形又は三角状卵形，まれに 2～3 個からなる複粒もある．また，表皮細胞及び道管付近の柔細胞にはシュウ酸カルシウムの単晶を含む.